

平成30年度北大低温研研究集会「グリーンランド南東ドームコアに関する研究集会」  
(課題番号 18S010)

代表 服部祥平 (東京工業大学物質理工学院)

2018年11月5日(月) 9:00~18:00

2018年11月6日(火) 9:00~15:00

北海道大学 低温科学研究所 会議室 (研究棟2階)

(低温研までのアクセスは <http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/access.html> 参照)

【プログラム】

2018年11月5日(月)

8:50-

開催のご挨拶 服部祥平 (東工大)

事務連絡 飯塚芳徳 (北大低温研)

9:00-12:30

服部祥平 (東工大) 「硫酸・硝酸の三酸素同位体組成から明らかとなった1970年以降の排出抑制と大気酸化過程の関連」

安藤卓人 (北大) 「SE Dome アイスコア試料中のダブルレットピークをもつ微粒子の組成変化と今後の研究について」

宮本千尋 (東大) 「SE-Dome コア中に捕捉された粒子のXAFS法を用いた化学種解析」

休憩

佐々木千晶 (山形大) 「SE-Dome コア中金属全濃度解析ー1960-70年代の不溶性成分についてー」

網野智美 (北大) 「SE-Dome アイスコアに含まれる不溶性微粒子の解析」

柴田麻衣 (北大) 「SE-Dome における近赤外線反射率測定」

お昼

14:00-17:00

堀彰 (北見工大) 「X線密度分析と次のアイスコアでの分析計画」

松崎浩之 (東大) 「放射同位体比( $^{129}\text{I}$ ,  $^{36}\text{Cl}$ )分析と次のアイスコアでの分析計画」

堀内一穂 (弘前大) 「SE Dome I の季節分解能  $^{10}\text{Be}$  分析と SE Dome II での可能性」 (2

人での発表の可能性)

休憩

飯塚芳徳（北大） 「SE-Dome II プロジェクトについて、ロジスティクスの概要」

植村立、上地 佑衣菜（琉球大） 「水同位体の解析計画とプロジェクトの目的達成にむけた課題」

大島長（気象研） 「気候モデル研究でのアイスコアデータの必要性」

高橋嘉夫 代理 宮本千尋（東大） 「氷河中の過塩素酸の生成について。SE2 コアの鉄や亜鉛の同位体比を測定」

18 : 00 懇親会

2018年11月6日（火）

11月6日

9 : 00-12 : 00

関宰（北大） 「古気候の立場から SE-Dome II で何を研究するべきか、高感度 TOC 計開発」

大野浩（北見工大） 「水溶性エアロゾル (inclusion) の組成分析」

服部祥平（東工大） 「1. MC-ICP-MS を用いた微量硫黄同位体測定とそれに必要な前処理法

2. イオン濃縮・分離・回収装置と極域試料を組み合わせた氷床コア多種同位体プロキシへの挑戦

3. SE-Dome II での提案：現地で表層複数コアの採取と現場濃縮法の検討」（1時間）

13 : 00-15 : 00

的場澄人（北大） 「SE-Dome II プロジェクトで使用する掘削機」

総合討論 司会 飯塚芳徳（北大）

「サイエンス課題をふまえて SE-Dome II プロジェクトのロジスティクスの検討」